

令和7年度取組状況と令和8年度取組予定について

九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会

令和8年2月12日

国協議会の取組内容(令和7年度までの実績、令和8年度以降の予定)

ソフト対策34項目のうち、令和7年度までに34項目を実施しました。(○記載)
引き続き、ソフト対策を進めていきます。

具体的な取組の柱		具体的な取組【ソフト対策】	主要内容	目標時期	令和7年度まで	令和8年度以降
1. 逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み						
■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等	c1	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成促進	引き続き実施	○	○	
	c2	・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良	引き続き実施	○	○	
	c3	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施)	引き続き実施	○	○	
	c4	・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成	引き続き実施	○	○	
	c5	・上記タイムラインの作成支援	引き続き実施	○	○	
■ハザードマップの作成・周知等	a1	・想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の策定・公表	H28年度完了	○	—	
	a2	・ダム下流部の水害リスク図の作成	R2年度完了	○	—	
	b1	・想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	H30年度完了	○	—	
	d1	・ハザードマップの更新・周知	引き続き実施	○	○	
	e1	・市町を越えた広域避難計画の検討	引き続き実施	○	○	
	g1	・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の個別避難計画の作成及び避難訓練の実施	引き続き実施	○	○	
	g2	・災害時における逃げ遅れをなくすため、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施	引き続き実施	○	○	

※九頭竜川・北川の取組方針【第4版】までに記載された取組を記載

国協議会の取組内容(令和7年度までの実績、令和8年度以降の予定)

具体的な取組の柱			目標時期	令和7年度まで	令和8年度以降
具体的取組【ソフト対策】	主な内容				
1. 逃げ遅れをなくす確な避難行動のための取り組み					
■防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充	h1	・「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数が増加するよう、域内全教育委員会に積極的に働きかける	引き続き実施	○	○
	h2	・防災に関する補助教材を活用した小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み	引き続き実施	○	○
	h3	・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携	引き続き実施	○	○
	h4	・指定避難所等までの避難ルートを示した避難マップ(マイ防災マップ)の作成促進	引き続き実施	○	○
	h5	・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の作成促進	引き続き実施	○	○
	h6	・応急的な避難場所確保の必要性について検討	引き続き実施	○	○
	h7	・河川改修やダムの整備効果の情報提供	引き続き実施	○	○
■避難行動のための情報発信等	f1	・河川水位情報等、住民の避難行動に繋がる情報提供による避難体系の確立	R3年度より実施	○	○
	f2	・避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	R3年度までに完了	○	—
	f3	・防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供(配信)	R3年度までに完了	○	—
	f4	・住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備	R3年度までに完了	○	—
	f5	・洪水予報文の改良と運用	R3年度までに完了	○	—

※九頭竜川・北川の取組方針【第4版】までに記載された取組を記載

国協議会の取組内容(令和7年度までの実績、令和8年度以降の予定)

具体的な取組の柱		主な内容	目標時期	令和7年度まで	令和8年度以降
具体的取組【ソフト対策】					
2. 氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化					
■水防体制の強化	j1	・ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認(タイムラインの活用も検討)	引き続き実施	○	○
	j2	・市町を越えた水防訓練の検討 (「市町を越えた広域避難計画の作成後に訓練を実施予定)	引き続き実施	○	○
	j3	・水防資機材の備蓄等の着実な確認	引き続き実施	○	○
	i1	・水防団員や消防団員の募集の強化	引き続き実施	○	○
	i2	・自主防災組織の活用、強化 (組織の育成や立ち上げサポート等)	引き続き実施	○	○
■水防活動支援のための情報公開、情報共有	k1	・重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施	引き続き実施	○	○
3. 一刻も早く災害から復旧するための取り組み					
■排水活動及び施設運用、ボランティア活動等の強化に関する取り組み	m1	・九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	引き続き実施	○	○
	m2	・緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成	H31年度完了	○	—
	m3	・基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練	引き続き実施	○	○
	m4	・ボランティアの効率的な活動を支援するため、「福井県社会貢献活動支援ネットシステム」の活用できるよう拡充を検討	引き続き実施	○	○

※九頭竜川・北川の取組方針【第4版】までに記載された取組を記載

九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有 (m1)

令和5年度から試行運用している「ふくい県域タイムライン」について、令和7年度も試行運用を継続し、WEB危機感共有会議や情報共有プラットフォームによる情報提供を行いました。

ふくい県域タイムライン WEB 会議

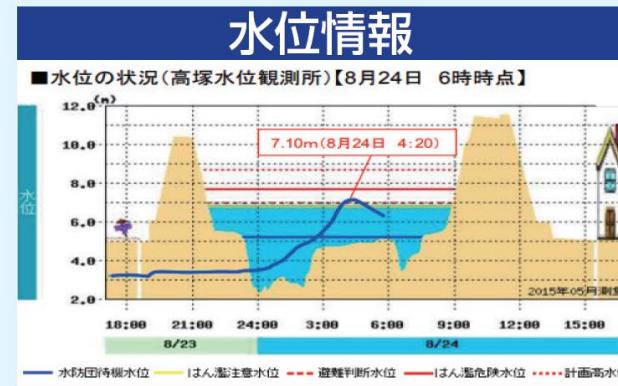
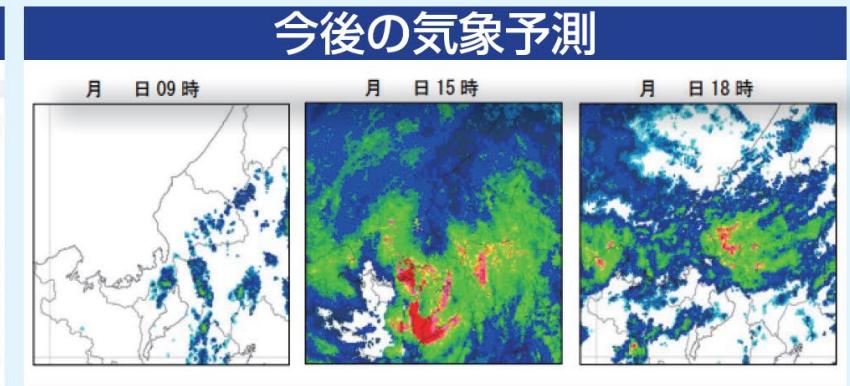
ふくい県域タイムラインに基づくWEB 危機感共有会議では、ふくい県域タイムライン共有プラットフォームによる九頭竜川情報共有サイトの各種河川情報の提供、リアルタイムの情報共有を行います。



ふくい県域タイムライン

「ふくい県域タイムライン」は、福井県全域を対象に、国、県、市町等関係機関が、水害・土砂災害が発生することを前提として、「いつ」「誰が」「何をするか」等の事前に取り組むべき行動を時系列で整理した行動計画です。

WEB危機感共有会議

令和7年出水期のタイムライン運用状況

運用期間 (情報提供、危機感共有会議等を実施した期間)	WEB会議 開催回数
8/5～8/6 (前線)	1回
8/8～8/11 (前線)	2回

左表以外に、情報共有プラットフォームで気象台や国から情報提供を行った出水

9月：3回 (2～4、10、12)
10月：1回 (1)
(括弧内は日付)

基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練 (m3)

「災害時等の応援に関する申し合わせ」を取り交わしている県・市町及び「災害協定」に基づき支援を依頼する建設業協会を対象とした、災害対策用機械操作訓練を実施しました。

日時: 令和7年6月13日(金) 13:30~16:00
場所: わくわくRiverCAN(九頭竜川流域防災センター)
福井県吉田郡永平寺町法寺岡
内容: 座学 「TEC-FORCE支援内容」
「災害対策用機械の要請について」
操作訓練(対策本部車、照明車、衛星通信車、
排水ポンプ車)
参加者: 14名(県4名、市町6名、協会4名)
取材: 2社(福井新聞社、日刊県民福井)

事務所長挨拶



座学



参加者からの意見

- ・実際に操作できる時間がしっかりと確保されていて、非常に良かった。
- ・機械の種類や台数、要請から応援までの流れが理解できた。
- ・実際の災害の現場では普段できている事も出来なくなると思うので、予め少しでも知識を持っている事は有意義であると思った。
- ・ぜひ来年以降も続けていただき、他の職員にも受講してもらいたい。
- ・次回は照明車のアウトリガーの操作を体験したい。

対策本部車車内説明



照明車操作訓練



衛星通信車説明



ポンプ組立訓練



排水訓練



防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充 (h1)

平成26年度より継続実施している『わが家のぼうさいコンテスト』、『わが町の防災コンテスト』を、県内の小学生とその家族、県内の自治会や自主防災組織を対象に開催しました。



福井新聞本社ロビーにて作品パネル展示

わが家のぼうさいコンテスト、わが町の防災コンテスト

このコンテストは、防災マップの作成や、地域の防災活動の報告をしていただくことで、地域の方々に、水害や地震災害に対する防災・減災への意識を喚起することを目的としています。

「わが家のぼうさいコンテスト」は、小学生に取り組んでもらうことにより、本人をはじめ協力したご家族や地域の方々の防災意識を高めることを目的として平成26年度から取り組んでいます。

募集期間: 令和7年7月上旬～

令和7年9月4日(木)

表彰式: 令和7年10月25日(土)

主催: ふくいの水防災を考える会

共催: NHK福井放送局

福井新聞社

後援: 福井県教育委員会、福井県防災士会

特別協賛: JA共済連福井



表彰式の様子

わが家のぼうさいコンテスト

受賞者(36名)

【応募総数187点】

最優秀賞

敦賀市立中央小4年上野乃花さん



わが町の防災コンテスト

受賞者(8団体)

【応募総数8点】

最優秀賞

【坂井市】みくに地区まちづくり協議会



防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充 (h5)

- 東藤島地区自主防災組織連絡協議会からの要請(防災に関する講師派遣)を受け、防災講習会という位置付けで、「気候変動に伴う水災害リスクの高まり・近年の水災害」とともに、「事務所が進める河川事業」「流域治水・流域総合水管理」の取り組みを紹介しました。
- また、逃げキットを配布し、「自らの命は、自らが守る」、「自らの判断で主体的な避難行動をとる」ということを学んでいただきました。

【日 時】令和7年11月21日(金)
19時～20時30分

【場 所】東藤島公民館

【参加者】約50名

【内 容】

- ・気候変動に伴う水災害リスクと流域治水、流域総合水管理
- ・近年の水災害
- ・九頭竜川水系の河川整備 など

【参加者の声】

- ・地図上で白地の土地であっても内水で浸水する可能性があることなど、ハザードマップの理解が深まった。
- ・河道内樹木は伐採してもすぐ成長している。定期的な伐採をお願いする。
- ・日頃から、どのようなタイミングで避難行動をとるか準備することの大切さを再認識した。

講習会の様子



福井河川国道事務所より説明



防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充 (h5)

○日野川西部地区治水協議会からの要請を受け、「水災害に備える」と題して、「近年の水災害」、「流域治水」、「マイ・タイムライン」、「田んぼダム」等の取り組みを紹介する出前講座を開催しました。

<開催概要>

日 時：令和7年7月5日（土）13：30～15：00

場 所：鯖江市吉川公民館

参加者：約30名

内 容：近年の水災害、流域治水、
マイ・タイムライン、田んぼダム等



防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充 (h5)

福井市内自治会(福井市豊地区自治会)の住民を対象に、地域の特性や水害リスクを踏まえたマイ・タイムライン、コミュニティタイムライン、マイ防災マップを作成するワークショップ(全3回構成)を、福井県、ドラゴンリバー交流会(河川協力団体)と協働で開催しました。

第1回 令和7年7月27日

■地域の水害リスクの確認

近年の気象状況、流域の過去の水害、地域の水害リスク、防災気象情報の入手方法等を確認しました。

■個人の避難行動の検討

近隣自治会ごとの班に分かれて、避難場所の意見交換を行い、とるべき避難方法と、そのためのマイ・タイムライン(個人で行う事前の準備・行動)を作成しました。

地域の水害リスクの確認



マイ・タイムラインの作成

第2回 令和7年8月31日

■地域での役割分担の検討

近隣自治会ごとの班に分かれて、地域で支え合う約束(ふだんの備え、災害発生前、災害発生後にやること)を整理しました。

■地域全体の避難行動の検討

地域で支え合う約束を、いつ、誰が実施するのか、ワークシートに整理して、コミュニティタイムライン(地域の防災計画)の作成方法を学びました。

地域での役割の整理



コミュニティタイムラインの作成

第3回 令和7年9月28日

■地域の危険箇所の確認

近隣自治会ごとの班に分かれて、実際の避難をイメージしながら「まち歩き」を行い、低い道路や柵がない用水路など地域の危険箇所を確認しました。

■安全な避難ルートを検討

危険箇所を避けた避難ルートや避難の際の注意点を地図に整理し、参加者全員で共有しました。

まち歩きによる危険箇所の確認



避難ルートの検討

参加者

福井市豊地区の各自治会の役員、防災担当者等

- ・第1回：35名
- ・第2回：28名
- ・第3回：25名

参加者の主な意見・感想

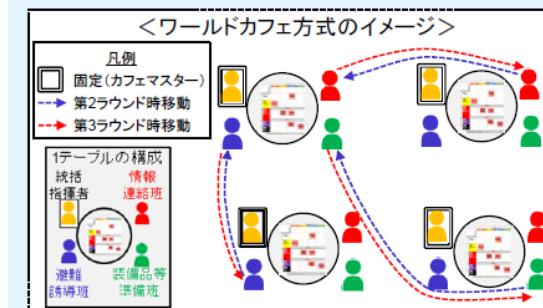
- ・水害時に自身がとる行動が明確になった。
- ・水害リスクや避難について、家族で話し合うきっかけになった。
- ・支え合うために、地区内での日ごろの付き合いを深めておくことが重要と感じた。
- ・自治会、自主防災組織の役割分担を決めるよう働きかけたい。
- ・実際にまちを歩くことで、地域の問題が理解・共有できた。
- ・定期的なワークショップ開催など、啓発活動を続けていくことの重要性を感じた。

災害時における逃げ遅れをなくすため、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施(g2)

- 平成29年の水防法改正により、要配慮者利用施設(社会福祉施設、学校、医療施設)の管理者等は、避難確保計画の作成、訓練の実施及び実施結果を市町長へ報告することが義務化されました。福井県内の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成率は約99%ですが、避難訓練の実施率は約21%(令和6年9月末時点)と低迷しています。
- 福井河川国道事務所と福井地方気象台、福井県では、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会、福井県管理河川(嶺北・嶺南ブロック)減災対策協議会における令和7年度の重点取組として、洪水時等の円滑かつ迅速な避難確保のために要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練実施の支援を関係市町とともに行いました。

市町	大野市	越前市	坂井市	美浜町
日時	令和7年6月13日(金) 14時~16時	令和7年6月30日(月) 14時~16時	令和7年7月28日(月) 14時~16時	令和7年7月23日(水) 14時~16時
場所	大野市文化会館 鳳凰の間	越前市アイシンスポーツアリーナ 会議室	坂井市役所本庁	美浜町役場
参加者	要配慮者利用施設関係者 27施設36名	要配慮者利用施設関係者 39施設61名	要配慮者利用施設関係者 25施設33名	要配慮者利用施設関係者 2施設3名

- 講習会プログラム
- ・ 避難確保計画に基づく避難訓練実施の重要性
 - ・ 防災気象情報について
 - ・ 施設タイムラインの作成について
 - ・ ワークショップ、意見交換会(ワールドカフェ方式※)

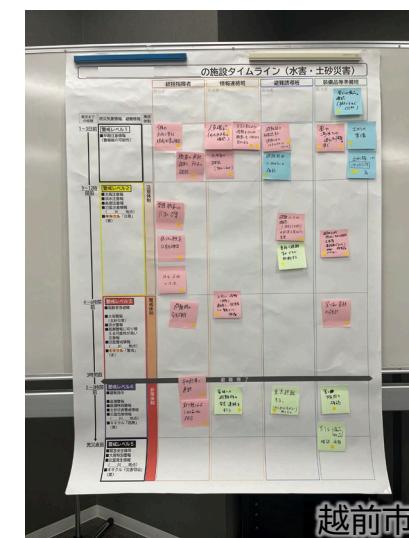


※ワールドカフェ方式
数名1班で災害対応時の役割を決めて意見交換し、その後、別の班に移動し、その班の意見を収集し、元の班に戻り、意見を集約してタイムラインシートを完成させる。



記載例 の施設タイムライン(水害・土砂災害)

時間	10:00~10:30	10:30~11:00	11:00~11:30	11:30~12:00
10:00	受付、説明、避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成
10:30	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成
11:00	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成
11:30	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成
12:00	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成	避難確保計画の作成



講習会后、施設に戻って、図上訓練として施設タイムラインシートを作成いただく。

完成したタイムラインシートを撮影(記録)し、各施設のタイムライン作成に活用